



本年もよろしく願っています。

新年あけましておめでとうございます。すばらしい天候のもと、令和6年が幕を開けました。昨年は、本校での教育活動に対し、温かなご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。一つ一つの学習や行事を通して、子どもたちは、着実に成長することができました。



さて、元日から自然災害の脅威や翌日の飛行機事故など、痛ましい出来事が続きました。亡くなられた方々のご冥福と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。アフターコロナの新年においても、我々人間が試されているように感じます。目の前の出来事に翻弄させることなく、今できることを粛々と進めていこうと、自らに言い聞かせたスタートとなりました。

本年も保護者や地域の皆様のお力添えをいただき、教職員一同、一丸となって子どもたちのよりよい成長に向けて心を新たに教育活動に邁進していきます。

引き続き、本校へのご支援とご協力をよろしく願っています。

野球しようぜ

アメリカメジャーリーグ、ドジャースの大谷翔平選手が日本国内約2万の全小学校にグローブを寄贈すると表明したのを受けてから、ようやく待ちに待ったグローブが本校にも届けられ、昨日の朝会で子どもたちに紹介することができました。ダンボール内のグローブ



を目にした子どもたちから、一瞬どよめきと歓声が沸き上がりました。

グローブは右利き用2個、左利き用1個の組み合わせとなっていて、小指の部分には大谷選手のサインが印字されています。

大谷選手から「野球しようぜ」と思いを込めた手紙も別途添えられています。

大谷選手からの手紙は次の通り。

『この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

こんな素敵なメッセージが添えられていました。

大谷翔平選手がグローブに込めた気持ちをしっかりと受け止め、大谷選手のように、チャレンジする心や夢を持つことの大切さを知って、これからも元気いっぱい運動や学校生活を送ってほしいです。

さて、この大谷選手のグローブをいかに有効活用するか、今頭をひねっている最中です。朝会では子どもたちにも活用のアイデアを募りました。

大谷選手の思いをくんだ使い方となるよう模索したいと思います。

